

東京都新宿区高田馬場4丁目1番9号
公益財団法人 国際文化カレッジ
理事長 品川 恵保

令和3年度事業計画書

記

1 令和3年度事業計画書

1 令和3年度事業計画書

I 公1:通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業の事業計画

[1] 各事業（公1-1～公1-4）の連携

公1の事業全体の連携を図るために、美術関連通信教育講座受講生への展覧会（日美展：公1-3）や展示館施設（公1-4）の案内、フォトマスター検定（公1-2）の受験者への写真関連通信講座（公1-1）や展覧会（総合写真展：公1-3）の案内資料配布等を計画して、各事業（公1-1～公1-4）の連携に努める。

[2] 公1-1：通信教育

定款第4条（事業）第1項第（1）号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第（2）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき以下の通信教育講座の事業運営を計画します。

(イ) 通信教育講座全般に関わる事項

1. 予定受講生数

全通信教育講座の受講生募集人数は、総計825人を予定する。

2. 普及活動と学習指導

文部科学省認定講座及び文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス系講座においては、これらを採用する一般企業や地方自治体などに対して、これら講座の受講生を安定的に募ることにより、幅広い領域において社会教育に貢献することを目指す。

学習指導面では、高齢者層の人口比率が年毎に増加していることとも相まって生涯学習、継続学習の重要性が益々高まっているので、展示館施設や展覧会、および知識・技能の検定の各事業と連動、連携して参加、観覧などを通じた受講生・修了生の継続的な学習指導にも注力する。なお、総合盆栽講座、造園講座、ハイキングとカメラ技法講座の計3講座は、普及活動について長年検討を重ねてきたが、講座運営の見込みが難しいので、廃講の検討を行う。

(ロ) 文部科学省認定の通信教育講座

1. 予定受講生数

本年度の文部科学省認定の通信教育講座 12 講座の受講生募集人数は、合計 245 人を予定する。

講座名	文部科学省認定年	募集予定人数	受講料 (税込)
家庭園芸講座	昭和 49 年	40 人	29,700 円 (一般分割払) ~19,000 円(矯正施設)
自動車講座	昭和 50 年	80 人	44,700 円 (一般分割払) ~29,000 円(矯正施設)
総合盆栽講座	昭和 55 年	0 人	29,700 円 (一般分割払) ~29,000 円 (一般一括払)
造園講座	昭和 58 年	0 人	47,760 円 (一般分割払) ~47,000 円 (一般一括払)
オートバイ講座	昭和 62 年	0 人	35,760 円 (一般分割払) ~23,000 円(矯正施設)
ハイキングとカメラ技法講座	平成 8 年	0 人	35,760 円 (一般分割払) ~23,000 円(矯正施設)
庭木と果樹の手入れ講座	平成 10 年	10 人	39,800 円 (一般分割払) ~25,000 円(矯正施設)
庭の工作物手作り講座	平成 21 年	5 人	39,800 円 (一般分割払) ~25,000 円(矯正施設)
植物医講座	平成 21 年	30 人	39,800 円 (一般分割払) ~25,000 円(矯正施設)
写真作品創作塾	平成 21 年	40 人	44,700 円 (一般分割払) ~29,000 円(矯正施設)
庭師入門講座	平成 23 年	10 人	39,800 円 (一般分割払) ~25,000 円(矯正施設)
美術品鑑賞・鑑定入門講座	平成 23 年	30 人	39,800 円 (一般分割払) ~25,000 円(矯正施設)
合計		245 人	(平均受講料 33,151 円)

2. 普及活動

- ①新聞、雑誌など一般媒体の利用は、投下費用に見合う効果があがらず、当法人は、ホームページ他、インターネットによる広告が主となっている。また、「通信教育総合ガイド」設置場を展示館施設や各種展覧会会場に設けて配布するなど、媒体費の削減に取り組んでいる。
- ②講座の中で、園芸、植物関連講座は、園芸・農業関連会社やゴルフ場、ホームセンターなどの職域における受講をより促進し、受講生の増加につなげる。また、矯正施設において、緑に対する教育や社会復帰に向けての受講も一定の需要があり、本年度も引き続き受講を促進していく。
- ③自動車講座を中心に、受講の需要が安定している矯正施設に対する普及活動を積極的に展開し受講者の社会復帰に向けた教育支援に資する。
- ④写真作品創作塾については、フォトマスター検定事業（公 1-2）と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動や、総合写真展（公 1-3）の参観者に対する普及活動を展開する。

3. 学習指導

学習指導者および教務責任者は下表の通り前年度と同様の陣容とし、各講座とも添削指導と学習途上における質問に対して詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図る。

講座名	学習指導者	教務責任者
家庭園芸講座	計3名 山形大学農学部卒：1名／日本大学生物資源科学部卒・2級造園施工管理技士：1名／東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
自動車講座	計3名 元読売江東理工専門学校講師：1名／読売自動車大学校専任教員：1名／中央大学理工学部卒：1名	事務局職員 1名
総合盆栽講座	計2名 山形大学農学部卒：1名／桐花門フラワーゲート技術者・2級造園施工管理技士：1名	事務局職員 1名
造園講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／桐花門フラワーゲート技術者・2級造園施工管理技士：1名／東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
オートバイ講座	計3名 読売自動車大学校専任教員：1名／三井住友海上火災保険(株)アジャスター・元読売江東理工専門学校講師：1名／バイクジャーナリスト：1名	事務局職員 1名
ハイキングとカメラ技法講座	計3名 写真家：1名／元国立科学博物館附属自然教育園研究官：1名／国立科学博物館附属自然教育園研究官：1名	事務局職員 1名
庭木と果樹の手入れ講座	計4名 造園設計事務所主宰者：1名／2級造園施工管理技士：1名／山形大学農学部卒：1名／東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
庭の工作物手作り講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／2級造園施工管理技士：1名／東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
植物医講座	計3名 東京農業大学農学部卒：2名／千葉大学環境健康フィールド科学センター・農学博士：1名	事務局職員 1名
写真作品創作塾	計3名 写真家：3名	事務局職員 1名
庭師入門講座	計3名 1級造園施工管理技士：1名／日本大学生物資源科学部卒・2級造園施工管理技士：1名／東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
美術品鑑賞・鑑定入門講座	計4名 武蔵野美術大学卒：1名／美術評論・鑑定家：1名／絵画保存修復工房代表：1名／陶磁資料館館長補佐：1名	事務局職員 1名

(ハ)文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連の通信教育講座

1. 予定受講生数

本年度の24講座の受講生募集人数は、580人を予定する。

これら講座の受講生のほとんどは一般企業・地方自治体を窓口とする職域における受講であるので、法人受講料の一括払いで計画する。

講座名	募集予定人数	受講料 (税込一括払)
レタリング講座	60人	15,000～19,000円
実践ボールペン字講座	30人	9,800～11,880円
トラブル対応力でチャンスに変える	25人	9,800～14,250円
コーチングで人を動かす	35人	9,800～14,250円
説得力・交渉力を行使する	30人	9,800～14,250円
コミュニケーションで自信と信頼を得る	60人	9,800～14,250円
アサーション表現力で魅了する	40人	9,800～14,250円
問題解決能力で現状を打破する	20人	9,800～14,250円
リーダーシップを発揮する	10人	9,800～14,250円
論理的思考で実現させる	30人	9,800～14,250円
発想力・創造力でビジョンを練り上げる	10人	9,800～14,250円
プレゼンテーションで成功する	10人	9,800～14,250円
心理学でビジネスの成果を生む	110人	9,800～14,250円
凶解思考がクリアにする	20人	9,800～14,250円
情報を成果に育てる	5人	9,800～14,250円
思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	3人	17,500～19,800円
眠っている9割を刺激する脳の活性化法	40人	17,500～19,800円
誰でもできる時間の超活用法	10人	17,500～19,800円
誰もが納得、数字の力	2人	17,500～19,800円
実効性のあるキャリアデザイン	6人	17,500～19,800円
新・人間関係のビタミン	5人	17,500～19,800円
強いビジネス組織をつくる	2人	17,500～19,800円
コンサル型ビジネスの達人になる	5人	17,500～19,800円
ビジネスで恥をかかない国語学	12人	17,500～19,800円
合計	580人	(平均受講料 11,540円)

2. 普及活動

これらの講座群は、その対象となる受講生は一般企業や地方自治体が多いため、普及活動は職域を中心に推進していく。この職域での受講生の増加、これらの講座を採用する一般企業や地方自治体をさらに広げるためには、ニーズに合わせ、開講講座を増やすための検討を行っていく。

3. 学習指導

学習指導者および教務責任者は下表の通り前年度と同様とし、多くの講座において受講期間が2～3ヶ月の短期修得型講座として短期間にビジネスのスキル、キャリアアップを図ることを目標にしているため、添削指導と学習途上での質問に対する迅速な対応を厳守する。また、一般企業や地方自治体の受講においては、人事部などの統括部署に対して受講生全員の学習進捗や成績などを細かく報告するサービスもこれまでと同様に継続する。

講座名	学習指導者	教務責任者
レタリング講座	計2名 レタリング技能検定試験委員 :2名	事務局職員 1名
実践ボールペン字講座	計2名 大東文化大学日本文学科卒・ 硬筆・毛筆書家:1名/法政 大学文学部書道科履修・硬筆 ・毛筆書家:1名	事務局職員 1名
トラブル対応力でチャンスに変える/コーチングで人を動かす/説得力・交渉力を行使する/コミュニケーションで自信と信頼を得る/アサーション表現力で魅了する/問題解決能力で現状を打破する/リーダーシップを発揮する/論理的思考で実現させる/発想力・創造力でビジョンを練り上げる/プレゼンテーションで成功する/心理学でビジネスの成果を生む/図解思考がクリアにする/情報を成果に育てる/思わず誰かに話したくなるビジネス雑学/眠っている9割を刺激する脳の活性化法/誰でもできる時間の超活用法/誰もが納得、数字の力/実効性のあるキャリアデザイン/新・人間関係のビタミン/強いビジネス組織をつくる/コンサル型ビジネスの達人になる/ビジネスで恥をかかない国語学	計2名 慶應義塾大学商学部卒・編集 企画制作事務所エムスリー 代表:1名/慶應義塾大学文 学部社会学科卒・エム・エフ・ ジー(株)顧問:1名	事務局職員 2名

[3] 公 1 - 2 : 通信教育に関連する知識・技能の検定

定款第 4 条（事業）第 1 項第（4）号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座（写真作品創作塾、ハイキングとカメラ技法講座）に関連する、フォトマスター／写真とカメラの実用知識検定(略称:フォトマスター検定)について以下の通り事業運営を計画します。

(イ) 予定受験者数

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、本年度の受験者数は、合計 4,350 人を予定する。受験料は、前年度同様、自主会場（準会場）を設置しての団体受験の場合は 10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は 5%を割り引く。

受 験 級	区 分	予定受験 人数	受験料 (税込)
3 級	個人受験・一般会場	300	4,500 円
	団体・一般会場受験	50	4,275 円
	団体・自主会場受験	450	4,050 円
	学生団体自主会場受験	300	3,500 円
2 級	個人受験・一般会場	600	5,700 円
	団体・一般会場受験	50	5,415 円
	団体・自主会場受験	600	5,130 円
準 1 級	個人受験・一般会場	450	6,800 円
	団体・一般会場受験	50	6,460 円
	団体・自主会場受験	400	6,120 円
1 級	個人受験・一般会場	450	7,600 円
	団体・一般会場受験	50	7,220 円
	団体・自主会場受験	500	6,840 円
小 計		4,250	
EX 認定コース (1ジャンル認定)		50	10,000 円
EX 認定コース (総合認定)		50	15,000 円
小 計		100	
合 計		4,350	(平均受験料 5,859 円)

(ロ) 試験の実施

試験は、全国主要都市の一般会場（本会場）及び自主会場（準会場）において 11 月に実施する。なお、本年は一般会場の開催を 18 都道府県に絞って開催を予定する。

(ハ) 普及活動

フォトマスター検定は、一般写真愛好者に対しては学習目標の明確化と成果の向上を、写真・カメラ関連業界従事者にとってはより質の高い接客やスキルアップにつなげる役割を担うものとして定着し、例えば、我が国の写真・カメラ関係社のほとんどにおいて採用されるなど、斯界の普及、振興に大きく貢献している。これを踏まえ、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界、および当法人の展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者を対象として、カメラ関係専門誌での広報、受験案内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る。

(二) 検定委員等

本年度の検定委員の構成は下表の通りとし、試験問題の原案について、(社)日本写真学会の学識経験者による監修を経て、より有意な試験問題とすることに努める対応も継続する。その他、試験会場の試験官、採点・合格基準等も、「通信教育に関連する知識・技能管理運営規則」に基づき、前年度と同様に運営する。

	氏名等
プロ写真家 写真評論家関係	徳光ゆかり／テラウチマサト／赤松秀夫／板見浩史／市川泰憲／ 枝常伊佐央／山崎康生／井上義之
写真・カメラ メーカー技術者 関係	(株)市川ソフトラボラトリー：1名／ キヤノンマーケティングジャパン(株)：1名／(株)ケンコー・トキナー：1名 ／(株)シグマ：1名／(株)タムロン：1名／ (株)ニコンイメージングジャパン：1名／パナソニック(株)：1名／ リコーイメージング(株)：1名 (50音順)

[4] 公 1-3：写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通り事業運営を計画する。

(イ) 総合写真展

1. 予定展示点数

本年度は、入選以上に該当する1,450点の作品展示で計画し、第25回展として開催する。なお、審査により選外になった場合は当該作品(原板含む)を返却し、一切の経費を徴収しない。

出品部門	入選以上該当の 展示予定作品数	出品・プリント料(税込)	
		出品料	プリント料
フィルム写真部門、 デジタル写真部門・半切	950	12,000円	5,000円
フィルム写真部門、 デジタル写真部門・全紙	500	12,000円	8,000円
合計	1,450	(出品・プリント料平均 18,034円)	

2. 普及活動

前年度同様、当法人の写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、カメラ関係専門誌、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集する。なお、出品希望者に対しては出品に関わる事項を詳述した本年度の出品要項(出品票付)を必ず事前に提示することとする。

3. 審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて、前年度と同様に運営する。

氏名	経歴
川合 麻紀	プロ写真家
徳光 ゆかり	プロ写真家
テラウチ マサト	プロ写真家
板見 浩史	写真評論家
丸林 正則	プロ写真家

4. 会期・会場

東京都美術館（東京都台東区上野公園 8-36）を会場として、12月4日から12月10日の会期で開催する。

5. 表彰式

表彰式への参加は無料。参加予定人数は約250名を見込み、開催日は12月4日、会場は浅草ビューホテル（東京都台東区西浅草 3-17-1）を予定する。ただし、新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、規模の縮小や中止をする場合がある。

6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を展覧会場で観覧者等に無料配布する。上位作品については作品写真・氏名・賞名を一部の全国版写真専門誌に掲載するなどして公表する。

(ロ) 日美展「水墨画部門」

1. 予定展示点数等

本年度は、入選以上に該当する680点の作品展示を予定する。

なお、審査により選外になった場合は当該作品を返却し、一切の経費を徴収しない。

出品部門	入選以上該当の 展示予定作品数	出品料 (税込)
作家の部 F30号/F20号/F15号	120	23,000円
一般の部 F30号/F20号/F15号/F10号 /F8号/F6号/半切1/2	385	20,000円
臨画の部 F10号/F8号/F6号/ 半切1/2	145	17,000円
俳画の部 F8号/F6号/色紙	20	14,000円
無鑑査出品 F30号/F20号	10	(無料)
合計	680	(平均出品料 19,419円)
備考 ①複数出品者の出品料割引額（上記計算額より差し引く額）は、 計120,000円（40人×3,000円/1人）で予定する。 ②分割払い希望者の出品料割増額（上記計算額に加算する額）は、 計54,110円で予定する。		

2. 普及活動

当法人の美術関連の通信教育講座（美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座）を中心とする受講生・修了生に対して、墨を主体にして描く水墨画作品（類似の俳画作品を含む）を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設（軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館）の観覧者、利用者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、案内DM、リーフレット配付、全国的水墨画団体を窓口とする広報活動、専門誌、協賛社を窓口とする広報活動等により作品を募集する。なお、出品希望者に対しては出品に関わる事項を詳述した本年度の出品要項（出品票付）を必ず事前に提示する。

3. 審査員等

本年度の審査員および実行委員は以下の水墨画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて、前年度と同様に運営する。

※「審査員」は下記20名に委嘱し（委嘱審査員）、このうち7名が当番制（当番審査員）により本年度の審査に当たる。
五十嵐 玉俊（水墨画家）/伊藤 昌（水墨画家）/大竹 卓（水墨画家） 岡原 大崋（水墨画家）/川端 豊次（水墨画家）/久山 一枝（水墨画家） 小林 東雲（水墨画家）/酒井 祐二（作家）/篠原 貴之（水墨画家） 沈 和年（水墨画家）/新恵 美佐子（画家）/千野 曜生（水墨画家） 千葉 玄象（水墨画家）/根岸 嘉一郎（水墨画家）/濱中 応彦（水墨画家） 藤崎 千雲（水墨画家）/松井 陽水（水墨画家）/丸山 東子（水墨画家） 村山 華鳳（水墨画家）/王俊 宇瀟（水墨画家）
※下記の「実行委員」は審査員による審査結果のチェック、承認を行う。その他、鑑査を要さない作家（無鑑査）の承認の任にも当たる。
品川 恵保（国際文化カレッジ理事長）/河野 元昭（静嘉堂文庫美術館館長）/島尾 新（学習院大学教授）/町田 泰宣（日本南画院会長）

4. 会期・会場

国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）を会場として、8月5日から8月14日の会期で開催する。

5. 表彰式

表彰式への参加は無料。参加予定人数は約150名を見込み、開催日は8月5日、会場は国立新美術館・講堂（東京都港区六本木7-22-2）を予定する。ただし、新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、規模の縮小や中止をする場合がある。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を展覧会場等で観覧者等に無料配布して公表する。また、入選以上の全作品を掲載する作品集も製作して公表し、本年度は450冊の発行を予定する。

(ハ) 日美展「絵画部門」

1. 予定展示点数

本年度は、入選以上に該当する 1,200 点の作品展示を予定する。

なお、審査により選外になった場合は当該作品を返却し、一切の経費を徴収しない。

出品の部		入選以上該当の 展示予定作品数	出品料 (税込)
油絵・日本画	F30号/F20号	192	14,000円
	F15号/F10号	157	13,000円
	F8号/F6号/F4号	113	11,000円
水彩画・パステル・ 色鉛筆・デッサン	F30号/F20号	103	14,000円
	F15号/F10号	180	13,000円
	F8号/F6号/F4号	322	11,000円
ちぎり絵の部	F10号	16	13,000円
	F8号/大色紙	33	11,000円
絵手紙の部	ハガキ形式/ 巻き手紙形式	84	11,000円
合計		1,200	(平均出品料 12,326円)
備考 分割払い希望者の出品料割増額(上記計算額に加算する額)は、 計 72,250円 で予定する。			

2. 普及活動

当法人の美術関連の通信教育講座(美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座)を中心とする受講生・修了生に対して、油絵・水彩画・パステル画・色鉛筆画・デッサン・日本画・ちぎり絵・絵手紙の各ジャンルの絵画作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設(軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館)の観覧者、利用者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、案内DMやリーフレット配付、協賛社を窓口とする広報活動等により作品を募集する。なお、出品希望者に対しては出品に関わる事項を詳述した本年度の出品要項(出品票付)を必ず事前に提示する。

3. 審査員等

本年度の審査員および本展大賞選考委員は以下の画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて、前年度と同様に運営する。

※「審査員」は以下の通り、各部別に当該分野の専門画家、作家を置き、各部毎の審査に当たる。	
油絵の部	板倉 略(画家) / 遊馬 賢一(画家)
水彩画の部	西丸 式人(画家) / 岸本 庄八郎(画家)
パステル画の部	大枝 隆司郎(画家)
色鉛筆画の部	大枝 隆司郎(画家)、林 佳名(画家)
デッサンの部	村松 昌三(画家)
日本画の部	山本 真也(画家) / 井坂 洋一(画家)
ちぎり絵の部	早川 美子(ちぎり絵作家)
	玉井 祐子(ちぎり絵作家)
絵手紙の部	花城 祐子(絵手紙作家) / 森川百合子(絵手紙作家)

※下記「大賞選考委員」は、上記の審査員による部門別の審査結果に基づいて、各部を横断しての上位優秀作品に授与する賞（全体賞）を選定、決定する。

川口 紀美雄（画家）／千足 伸行（成城大学教授、画家）／
中野 嘉之（多摩美術大学名誉教授、画家）／
永井 龍之介（美術鑑定士他）

4. 会期・会場

国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）を会場として、8月5日から8月14日の会期で開催する。

5. 表彰式

表彰式への参加は無料。参加予定人数は約250名を見込み、開催日は8月6日、会場は国立新美術館・講堂（東京都港区六本木7-22-2）を予定する。ただし、新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、規模の縮小や中止をする場合がある。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を展覧会場等で観覧者等に無料配布して公表する。また、入選以上の全作品を掲載する作品集も制作して公表し、本年度は575冊の発行を予定する。

[5] 公 1 - 4 : 芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第 4 条（事業）第 1 項第（5）号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通り事業運営を計画する。

(イ) 展示館施設全般に関わる事項

1. 展示館施設（施設区分：軽井沢千住博美術館、軽井沢ギャラリー館、軽井沢カラーリーフガーデン）の認知度拡大化活動

入館者数 38,000 人を目標とする。各施設の認知度拡大と観覧者増に向けての施策として、①従来使用した媒体広告の中で、アンケート等で観覧効果の高い媒体（雑誌、フリーペーパー等）を使用するほか、ホームページへの誘導効果が期待されるリスティング広告の積極的な活用、②企画展・催事の周知案内チラシ・ポスターを主要美術館や地元施設への配布、③展覧会会場における企画展チラシの設置などを行う。

2. 展示館施設に関する観覧者アンケートの実施

観覧者へのアンケートは、来館の動機や人物像、施設への満足度、要望等を把握する手段として、とても有効である。本年度も、引き続きアンケートの実施を継続し、今後の周知活動の効率化、より魅力のある施設運営に役立てていく。

(ロ) 軽井沢千住博美術館

1. 予定入館者数

本年度の入館者数は、38,000 人を予定する。

観覧者種別	観覧人数	入館料(税込)
一般・個人	29,750 人	1,500 円
一般・団体（15 名以上）	2,300 人	1,200 円
一般・団体（50 名以上）	150 人	1,100 円
学生（高校・大学生）・個人	2,500 人	1,000 円
学生（高校・大学生）・団体（15 名以上）	400 人	900 円
学生（高校・大学生）・団体（50 名以上）	100 人	800 円
中学生以下	1,600 人	無料
障害者（障害者手帳保持者）	1,200 人	無料
合 計	38,000 人	(平均入館料 1,328 円)

2. 開館期間等

本年度の開館期間、開館時間および休館日は以下の通り予定する。なお、休館日が祝日、振替休日と重なった場合は開館する。ギャラリー館、カラーリーフガーデンについてもこれに同じとする。

開館期間	開館時間	休館日
3 月から 6 月	9 時 30 分から 17 時 00 分	毎週火曜日
7 月から 9 月	9 時 30 分から 17 時 00 分	無休
10 月から 12 月 25 日	9 時 30 分から 17 時 00 分	毎週火曜日

3. 作品の展示計画

3 月 1 日から 12 月 25 日まで「開館 10 年の軌跡展」と題し、初期作～最新作までの様々な作品を展示し、代表作「滝」に至るまでの苦悩、そして日本画の新たな表現方法を模索し続けるなかでたどり着いた新境地である最新作までを展示し、日本画の魅力を本館から世界に発信する。同展により、千住博の作品世界を幅広く紹介し、当法人の「美

術品鑑賞・鑑定入門講座」、「写真作品創作塾」、「ハイキングとカメラ技法講座」、「レタリング講座」といった美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資するとともに、当法人が開催する「日美展」、「総合写真展」の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養に資するものとする。

(ハ) 軽井沢ギャラリー館

3月1日から引き続き、4月12日までを「カルビ ソメビ展(軽井沢高校・染谷丘高校 美術部合同展)」、4月15日から5月10日までを「総合写真展 上位賞展示」、5月13日から5月31日までを「透明なパッケージ展」、6月3日から7月4日までを「千住博版画展」、7月8日から7月28日までを「東山魁夷展」、7月31日から8月15日までを「第6回追分写遊会写真展」、8月18日から9月20日までを「天 紫生絵画展」、9月23日から11月15日までをパブリックアート展、11月18日から12月25日までを「UWC ISAK JAPAN 作品展」といった内容で、美術・芸術文化等に関する催しを各種開催し、いずれも無料で観覧できるものとする。なお、本施設内には通信教育のパンフレット(公1-1)や、「日美展」「総合写真展」(公1-3)の参観案内ハガキなどを随時設置することで、事業間の連携を図るものとする。

*各催事名開催期間は、いずれも仮称・予定とする。

(ニ) 軽井沢カラーリーフガーデン

「軽井沢カラーリーフガーデン」は、「軽井沢千住博美術館」の西側、南北側を取り囲むように設置、植栽されており、「ノルウェーカエデ ‘クリムソン・キング’ /カエデ科」や「ヨーロッパシラカバ ‘ゴールデン・クラウド’ /カバノキ科」などの木本、「リシマキア・キリアタ ‘ファイヤー・クラッカー’ /サクラソウ科」や「トラデスカンティア・アンダーソニアナ ‘スイート・ケイト’ /ツユクサ科」などの草本等々、他では見聞し難いカラーリーフプランツを約150種類以上植栽している。観覧料を徴収しない本ガーデンの観覧者数は、軽井沢千住博美術館の入館者に、本ガーデンの単独観覧者を加えた規模になると見込まれるため、当該植物の啓発に関わる本ガーデンの役割は大きなものになると思われる。したがって、これらを踏まえ、本年度も、観覧者の理解をさらに深めるために設置した、主要な植栽植物への写真付名札のメンテナンスを実施し、さらなる啓発、教化活動に努めるものとする。

Ⅱ 収 1:出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室 および業務受託の事業計画

[1] 収 1 - 1 : 出版

定款第4条（事業）第1項第（3）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき以下の事業運営を計画する。

(イ) 事業の内容

当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を販売する。また、当該出版物の開発や販売を通じて、当法人が運営する関連通信教育講座の受講生、修了生の学習指導にも活用する。

関連する当法人の通信教育講座等	出版物の内容の要点	出版物の種類
文部科学省認定 「写真作品創作塾」 (公1-1) 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 (公1-1) フォトマスター検定 (公1-2)	写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その知識を身につけるための公式テキストの発刊。過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。開発、販売を通じて当法人の関連通信教育講座の学習指導にも活用する。	フォト検・過去問題の解答と解説 3 フォト検・過去問題の解答と解説 4 フォト検・過去問題の解答と解説 5 フォト検・過去問題の解答と解説 6 フォト検・過去問題の解答と解説 7 フォトマスター検定公式テキスト
文部科学省認定 「自動車講座」(公1-1) 文部科学省認定 「オートバイ講座」 (公1-1) 文部科学省認定 「写真作品創作塾」 (公1-1) 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 (公1-1) フォトマスター検定(公1-2)	デジタルシステムは、自動車・オートバイ、あるいはデジタルカメラに関係する内容であることから、デジタル技術検定の過去問題の解答・解説等の受験対策用教本の開発、販売を通じて当法人の関連通信教育講座の学習指導にも活用する。	<デジタル技術検定関係> 4級試験問題集 3級試験問題集 2級制御部門試験問題集 2級情報部門試験問題集
レタリング講座 (公1-1)	レタリング技能検定の受検者対策用教本の開発、販売を通じて当法人のレタリング講座の学習指導にも活用する。	書体サンプル集 文字骨格練習帳

(ロ) 販売計画、販売数

各検定の受検案内、ホームページ等での広告により、以下の販売を計画する。

出版物の種類	販売数	税込平均単価
7ト検・過去問題の解答と解説 3 (2,480 円)	10	
7ト検・過去問題の解答と解説 4 (2,700 円)	20	
7ト検・過去問題の解答と解説 5 (2,700 円)	50	
7ト検・過去問題の解答と解説 6 (2,700 円)	120	
7ト検・過去問題の解答と解説 7 (3,520 円)	500	
フォトマスター検定公式テキスト(5,500 円)	800	
小 計	1,500	4,465 円
4 級試験問題集 (1,000 円)	150	
3 級試験問題集 (1,300 円)	300	
2 級制御部門・試験問題集 (2,500 円)	350	
2 級情報部門・試験問題集 (2,500 円)	300	
小 計	1,100	1,968 円
書体サンプル集(1,400 円)	3,400	
文字骨格練習帳(550 円)	600	
小 計	4,000	1,273 円
合 計	6,600	(平均単価 2,114 円)

[2] 収 1 - 2 : 物品販売

定款第 4 条 (事業) 第 1 項第 (5) 号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の事業運営を計画します。

(イ) 事業の内容

当法人の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要な用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売ならびに当法人の展示館施設の関連商品等の展示館施設における観覧者への販売、あるいはインターネットによる一般に対する販売。

関連する当法人の公益目的事業	販売対象者等
日美展 (公 1-3)	<出品希望者または出品者に対する販売> 各種絵画画材、オリジナルはがき、アートパネル等
展示館施設 (公 1-4)	展示館施設の売店において、軽井沢千住博美術館、軽井沢ギャラリー館あるいは軽井沢カラーリーフガーデンに関わる、作品のレプリカや各種オリジナル商品、カラーリーフ植物などの関連商品及び雑貨、加工食品、書籍等を販売する。 展示館施設建物の本事業に使用する床面積は 65.59 m ² とする。

(ロ) 販売計画、販売数

日美展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する各展の出品要項へのカタログ添付、あるいは出品者への授賞名通知（審査結果通知）にカタログを添付するなどして広告し、本年度は以下の販売を計画する。

	販売品の種類・内容等（価格は税込）	販売数、平均単価等
日美展絵画部門関連商品	【出品希望者または出品者に対する販売品目】 油絵用筆類（種類により 390 円～5,200 円）／油絵具類（セット内容により 840 円～2,850 円）／キャンバス類（サイズにより 1,020 円～4,440 円）／画用液（種類により 1,050 円～1,200 円）／水彩用筆類（種類により 490 円～2,200 円）／水彩絵具類（セット内容により 870 円～3,360 円）／水彩用紙（サイズ・セット内容により 2,900 円～3,500 円）／色鉛筆（種類により 2,400 円～9,600 円）／日本画用筆（種類により 900 円～2,500 円）／麻紙ボード（サイズにより 770 円～6,800 円）／パステル（種類・セット内容により 1,100 円～10,000 円）／パステル用フィキサチーフ（1,400 円）／パステル用スケッチブック（サイズにより 2,400 円～3,800 円）／汎用スケッチブック（サイズにより 700 円～1,500 円）ちぎり絵用和紙類（セット内容により 810 円～1,890 円）／ちぎり絵用台紙（サイズにより 250 円～820 円）／顔彩類（セット内容により 1,260 円～5,250 円）／印（600 円）／絵手紙用筆（種類により 315 円～2,625 円）／絵手紙箋（種類により 430 円～940 円）等	購入者数=800 人 1人当たり平均購入金額=5,156 円（送料・税込） 延販売数=1,250 点 送料・税込平均単価=3,300 円
		購入者数=600 人 1人当たり平均購入金額=6,400 円（送料・税込） 延販売数=1,000 点 送料・税込平均単価=3,840 円
日美展水墨画部門	【出品希望者または出品者に対する販売品目】 毛筆類（種類・サイズにより 880 円～7,480 円）／墨（種類により 1,320 円～13,200 円）／顔彩（種類により 1,650 円～2,860 円）／用紙類（種類・サイズにより 747 円～20,349 円）／印泥付雅印（サイズにより 16,500 円～18,700 円）／印泥（種類により 7,480 円～10,780 円）／印矩（1,980 円）／印褥（3,630 円）／下敷（サイズにより 1,760 円～8,800 円）／紙断包丁（2,200 円）／ドーサ塗り用刷毛（サイズにより 550 円～1,210 円）／ドーサ液（990 円）／わんぼう（1,100 円）／膠（種類により 990 円～1,760 円）／自作パネル仕立て（7,400 円）／自作印刷ハガキセット（4,000 円）等	購入者数=8,000 名 本年度売上計=1,400 万円（税込） （0.8 万人×1,750 円） オンラインショップは、以下の通り予定する。 購入者数 100 人 1人当たり平均購入金額=5,000 円（送料・税込） 本年度売上計=50 万円（送料・税込）
展示館施設関連商品	ハガキ・ハガキセット（120～1,800 円）、クリアファイル（300～380 円）、マグネット（500 円）、化粧筆（1,540～4,180 円）、トートバック（1,400 円）、一筆箋（350 円）、Tシャツ（2,600 円）、美術館出版物・DVD（360～2,800 円）、一般書籍類（770～17,600 円）、千住作品複製画（4,000～9,000 円）、千住作品ミラー・名刺入れ（990～1,650 円）、各種雑貨（180～7,150 円）等	

[3] 収 1 - 3 : 展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の事業運営を計画します。

（イ）事業の内容

展覧会に関わる展示作品（入選以上該当作品）の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業。なお、各展覧会における表装は、額装や軸装などの材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、また、不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼する。出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを（総合写真展および日美展・水墨画部門は裏打ち・マット付の状態）、買取の場合は表装した状態のまま返送する。

（ロ）表装代行・親睦パーティーの計画、点数・人数等

表装代行に関わる料金等は出品要項に記載し、これを出品希望者全員に配布する。

1. 総合写真展（公1-3）に関わる表装代行・親睦パーティー

表装区分		入選以上該当の代行予定作品数	料金（税込）
半 切	買取	600	13,000 円
	リース	350	10,500 円
全 紙	買取	380	19,800 円
	リース	120	16,000 円
合 計		1,450	（平均料金 14,426 円）

親睦パーティーは以下の通り計画する。

日時：12月4日 12時～14時

場所：浅草ビューホテル（東京都台東区西浅草3-17-1）

参加人数：100人／参加費：13,000円（税込）

※ただし、新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、中止する場合があります。

2. 日美展「水墨画部門」(公1-3)に関わる表装代行・親睦パーティー

表装区分		入選以上該当の 代行予定作品数	料金(税込)
F30号	買取	115	28,520円
	リース	75	24,240円
F20号	買取	85	22,410円
	リース	45	18,130円
F15号	買取	35	20,370円
	リース	20	17,110円
F10号	買取	66	18,330円
	リース	25	16,090円
F8号	買取	82	16,300円
F6号	買取	22	14,260円
半切1/2	買取	100	17,320円
色紙	買取	10	10,190円
合計		680	(平均料金20,544円)
親睦パーティーは計画しない(東京オリンピック開催事情による)。			

3. 日美展「絵画部門」(公1-3)に関わる表装代行・親睦パーティー

表装区分		入選以上該当の 代行予定作品数	料金(税込)
F30号	買取	115	28,520円
	リース	49	24,240円
F20号	買取	85	22,410円
	リース	46	18,130円
F15号	買取	92	20,370円
	リース	23	17,110円
F10号	買取	168	17,320円
	リース	70	15,080円
F8号	買取	145	16,300円
F6号	買取	179	14,260円
F4号	買取	131	13,240円
大色紙	買取	13	10,190円
絵手紙	買取	84	13,240円
合計		1,200	(平均料金17,779円)
親睦パーティーは計画しない(東京オリンピック開催事情による)。			

[4] 収1-4: 貸室

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第(6)号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき以下の事業運営を計画します。

(イ) 事業の内容

当法人の展示館施設(公1-4)の建物の一部をカフェ用に貸室する。

(ロ) 貸室計画

展示館施設の建物における貸室はカフェ用として、床面積162.13㎡を、年間2,640,000円(税込)の貸室料で計画する。

[5] 収 1 - 5 : 業 務 委 託 等

定款第 4 条（事業）第 1 項第（2）号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき以下の事業運営を計画します。

（イ）事業の内容

デジタル技術検定(当法人の自動車、オートバイ、デジタルカメラ関連講座に関連)、レタリング技能検定(レタリング、美術関連講座に関連)を運営し、当該分野について研究することにより当法人が運営する関係通信教育講座の学習指導に役立てると同時に、当該分野に関わる学生や一般社会人のスキル、キャリアアップにも寄与する。なお、受託業務については、本年度も継続して受託先の開拓に努める。

（ロ）デジタル技術検定

1. 予定受験者数等

本検定は、情報処理・制御に関する技術をデジタル技術という観点からまとめて評価するもので、受験者数は下表の通り 2,600 人を予定する。試験会場は、一般会場(本会場)及び団体受検者が設置する自主会場(準会場)を設け、受検料は自主会場の団体受検の場合は 10%を一般会場で受検する団体の場合は 5%を割り引く。

受 験 級	区 分	予 定 受 験 人 数	受 験 料
4 級	個人受検	100	3,000 円
	団体受検割引	150	2,700 円
3 級	個人受検	300	4,000 円
	団体受検割引	500	3,600 円
2 級	個人受検	700	5,000 円
	団体受検割引	700	4,500 円
1 級	個人受検	100	6,500 円
	団体受検割引	50	5,850 円
合 計		2,600	(平均受験料 4,345 円)

2. 試験の実施

試験は、全国主要都市の一般会場（本会場）及び自主会場（準会場）において 6 月と 11 月の 2 回実施する。

3. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、専門誌への情報提供等により、受験者を募る。

4. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や合否判定等を行う。

日本大学名誉教授：1 名／東京工業高等専門学校名誉教授：1 名／
東京工科大学教授：1 名／日本大学教授：1 名

(ハ) レタリング技能検定

1. 予定受検者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、受検者数は下表の通り 5,500 人を予定する。試験会場は、当法人が設置する一般会場(本会場)及び団体受検者が設置する自主会場(準会場)を設け、受検料は自主会場の団体受検の場合は 10% を、一般会場で受検する団体の場合は 5% を割り引く。

受検級	区分	予定受検人数	受検料
4 級	個人受検・一般会場	10	2,400 円
	団体受検・自主会場	1,300	2,160 円
	団体受検・一般会場	30	2,280 円
3 級	個人受検・一般会場	30	3,800 円
	団体受検・自主会場	3,400	3,420 円
	団体受検・一般会場	50	3,610 円
2 級	個人受検・一般会場	15	4,900 円
	団体受検・自主会場	560	4,410 円
	団体受検・一般会場	50	4,655 円
1 級	個人受検・一般会場	10	6,000 円
	団体受検・自主会場	40	5,400 円
	団体受検・一般会場	5	5,700 円
合計		5,500	(平均受検料 3,255 円)

2. 試験の実施

試験は、全国主要都市の一般会場(本会場)及び自主会場(準会場)において 6 月に実施を予定する。

3. 普及活動

工業高校・専門学校などの関連する教育機関や企業に受検案内書を送付するほか、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受検者を募る。

4. 検定委員等

本年度の検定委員は、下記の専門家により構成し、委員会を開催して試験問題の作成や合否判定等を行う。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：2 名／

デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：1 名／

多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・文字書体

デザイナー：1 名／書体デザイン会社・文字デザイナー：1 名／

会社員：1 名／文筆家：1 名

(ニ) 軽井沢千住博美術館 10 周年イベント

1. 予定入場者数等

当法人の公 1-1 「美術品鑑賞・鑑定入門講座」、1-4 「芸術・自然科学に関する展示館施設」と連動し、軽井沢千住博美術館 10 周年イベントを開催する。出演予定の千住真理子氏、千住明氏は音楽家、千住博は日本画家であり、美術と音楽の調和、美術家と音楽家の共通点など、歴史の中でともに宗教や国家とも深く関わりのある美術と音楽を 10 周年という機会をもって、3 人の競演により広く発信することを目的とする。

チケット区分	予定人数	入場料
SS席	200	7,500
S席	300	7,000
合計	500	(平均7,200円)

2. 会期・会場

軽井沢大賀ホール（長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東 28-4）を会場として、10月9日に開催する。

3. 普及活動

チケット販売委託やWEB告知などにより、広く入場者を募る。

4. 出演予定者

千住博氏（日本画家）

千住明氏（作曲家）

千住真理子氏（ヴァイオリニスト）

[補足]

新型コロナウイルス感染症対策については、以下のように対策を行い、感染拡大防止に尽力する。

<検定>

不特定多数が集う、本会場については会場数を減らす、または、準会場受験開催の推奨・依頼により、本会場受験者数を極力減少した状態にする。試験実施においては、感染防止策として、周知啓発活動および接触・飛沫防止策の現場対策を徹底する。

<展覧会>

各種ガイドラインを遵守し、接触・飛沫防止策の現場対策を徹底する。

表彰式については社会情勢を踏まえ、開催中止を念頭においた準備を行う。

<美術館・イベント>

国や地方自治体の要請に速やかに従い、移動制限要請などについては、周知啓発に協力する。受付・レジにおいては、飛沫防止器具の設置をし、手指接触箇所については、高頻度の消毒作業を実施する。